1969
12月号
No.193
編集兼発行
鮫川村
総務課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

12月の人口と世帯
人口 6.956(－4)
男 3.499(0)
女 3.457(－4)
世帯数1.231(－2)

統合中第一期建設工事始る
通学道路・基礎杭打を終えて…

鮫川村の統合中学校建設については、昭和四二年一二月二〇日に鮫川村中学校対策協議会が設けられ、それ以来村長の諮問機関として活動が継続されて来ました。

この協議会は、会長芳賀悟朗（村議長）副会長緑川操（教育委員長）同大楽勝男（連P会長）委員に議会議員、教育委員、中学校長、区長、PTA会長、学識経験者計四五名で構成され、先づ校舎建設位置の選定について、慎重な調査検討が行なわれ、第一から第三に至る小委員会が設置され、教育環境、用地取得、工費等財政負担、全村的にみた交通事情等一ケ年以上にわたる継続審議が行われましたその結果今年の六月一六日の協議会で、次の位置を適当として、会長から村長に答申されました。

赤坂中野字巡ケ作一三〇の四、一三〇の五（壇の岡）

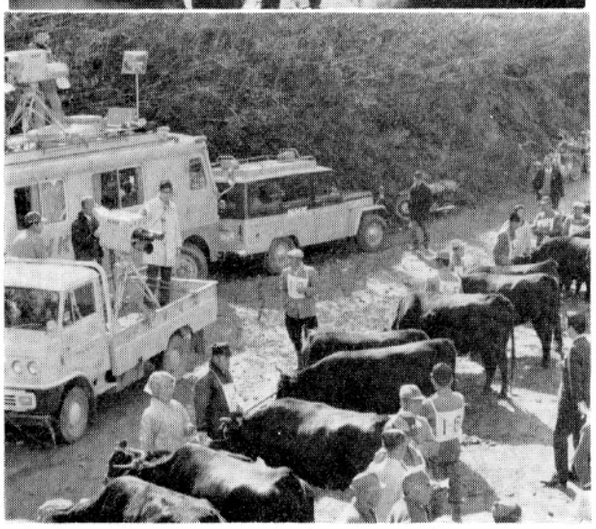
この土地は阿武隈の山なみを一望に見渡す展望の雄大な所で、検査のため来村した県教育庁の係員も、中学校の教育環境としてはおそらく県内第一と絶賛したほどです。

村ではこの答申に基づいて実施計画を立て、先づ道路の建設から初め、前沼口から延長五九〇m幅員四・六mの道路新設工事を完成し、第一期建築工事の基礎杭一〇八本の打込み作業も終りました。

今年度作られる第一期校舎建築の規模は、普通教室一二、廊下便所等で、鉄筋コンクリート構造三階建の近代建築で便所は水洗方式の設計です。

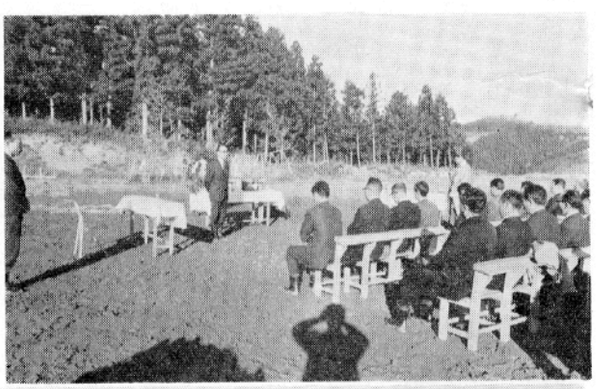
昭和四五年度には残りの普通教室、特別教室管理室が予定され、昭和四六年度には体育館、プールなどが予定されています。





畜産の村“鮫川”を紹介しようと、NHKのテレビ中継車が村の畜産共進会を取材に訪れ、村長の話や青生野和牛協業組合の運営などをおりまぜ、11月27日に放送されました。

12月27日は
衆議院議員選挙の投票日
- この一票くらしと政治にかける橋
- この人にこそ　この一票



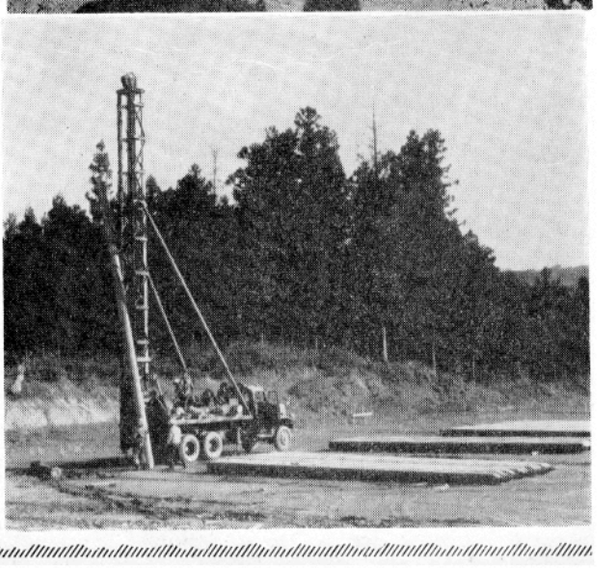
写真説明　右は壇の岡の現地で行われた統合中学校建設の起工式、右の下、基礎杭に長さ10mのパイル一〇八本が打込まれた。

第二次農構はどうあるべきか

鮫川村の今後行われる農業構造改善はどうあるべきかについて、全国農業構造改善協会からコンサルタント団が派遣され、熱心な現地調査と検討が行われました。来村された先生方は次のとおり。

（基盤整備）
東京農工大学教授　石橋　豊
（畜　産）
農林省福島種畜牧場長　金子　黎一
（養　蚕）
農林省蚕糸試験場桑部長　間　和夫
農学博士
（たばこ）
県たばこ耕作連合会嘱託　野川　英夫
（経営）
農林省農業技術研究所　林　健一
経営科長

（連絡調整）
全国農業構造改善協会　梶原　東一
新沼　勝利



おめでた

十一月
中沢　生田目　薫父定之助
広畑　蛭田　忠雄〃彦忠
二反田　鷲野谷　勤〃弘行
寅卯平　舟木　富子〃寿郎
馬場　鈴木　隆寛〃寛重
青生野　吉成　光子〃義郎

おくやみ

十一月　才　世帯主
馬生田　鏑木　長重78　長一
江竜田　芳賀　義信80　寛一

すべての年金が通算されます

現在わが国には各種の公的年金制度があり、すべての人はそのいずれかに加入しております。そして同一年金制度に二十年または二十五年の加入期間があれば老令年金を受給することができるわけです。

しかしいろいろな事情により他の年金制度へ移り変る人があり、それぞれの加入期間が短く年金がもらえなくなる人ができますので、このような不合理をなくすためにこれら各種の年金制度の加入期間をつなぎ合せ、その中に国民年金の加入期間（国民年金の場合はかけ金の納めた期間又は免除期間）があれば二十五年間、それ以外のときは（厚生年金等）二十年間あれば年金が貰えるようになつております。

このしくみを通算年金といい通算される各種年金は次のとおりです。

1.国民年金法　2.厚生年金法　3.船員保険法　4.国家公務員共済組合法　5.地方公務員共済組合法　6.私立学校教職員共済組合法　7.公共企業体職員共済組合法　8.農林漁業団体組合法による年金で通算される年金の額は、それぞれ加入期間に応じてそれぞれの年金制度で定められた方法で計算されて支給されますので、これから他の年金制度へ移り変るときは必ず資格取得届または資格の喪失届を役場へ提出して下さい。

◎赤坂中野区が知事表彰

国民年金法十周年記念県大会において拠出年金の当初から毎年度の年金の実績が特に顕著であることを認められ、赤坂中野区が表彰されました。

郵便番号は住所の一部です

年賀状にもお忘れなく、みんなで書きましょう!!

鮫川局の郵便番号は九七八―〇四です

年末の郵便は!!

小包は十五日までに

年賀状はおそくとも二十二日までに差出しましょう

鮫川史 (15)

黒沢村塾の跡

国島義広

因果応報とは仏語で聖賢の教である。原因は結果を生む之れを因果と云う。

時は流れて既に百年慶応四年大政官令が布かれて明治と改元、大政奉還廃藩置県となり時の棚倉藩主十万石所領（十万石以上の藩に県を置く）故に阿部美作守正静棚倉県知事となる。

当時福島県に四県を置く、曰く磐前県（平県）「湯長谷藩、泉藩、相馬藩合併して置く、」二本松県、若松県、棚倉県である。

前の白河藩校修道館（会津日新館と同格）の教官であつた黒沢章安が知事の命により西野村下滝の地を卜し私学校を建て、黒沢村塾と称した現在の仁田、塩倉、浅川方面に分岐する三叉路の路傍にあり、恰も昔日の寺小屋式で、読み書き算盤が主に授けられた。

然し今日の短大位の教養が得られたと云う。助教授として地元の熊野神社神主兼泉蔵院住職法印の西野勇氏が居た。此の塾に初めて入所した塾生は二十八名であつた。

塾の開所に当り、創立委員として協力された方々は地元の石井八郎右エ門、白坂熊五郎、白坂甚蔵、須藤米蔵の諸氏である。

初年に入所した塾生は須藤千代之助、北条喜三郎、石井福次郎（後に金沢と改む）、高坂八百之亟、須藤福之助等が居る。近郷より小針啓太郎、大竹菊次、近藤太郎、吉田米吉氏等がある。

越えて明治七年四月惜しくも此の塾が閉じた。開設以来僅か五ケ年である。因る所明治六年の学制改革と文部省令によると雖ども、時局経済の難による所が多い。

又一説には創立委員長である石井八郎右エ門と副役の白坂熊五郎は同時に病となり、創立委員の正副共に其の職を退き、白坂甚蔵、須藤米吉も病と云う理由で委員の世話役を辞したのが一大打撃であつた。尤も石井八郎右エ門は明治二十八年三月九日没して居る等の証査から、閉所の止むなきに至つたのではあるまいか。然し僅かの期間と雖ども此の門を出でたる者は皆後世に名をなした者が多い。

これ即ち「原因は結果を産んだ」のである。

因に明治六年四月県下に魁かけて西野小学校が建てられたのも、遠き源は此の私塾に困る処が多い。（東白川郡では西野小学校が一番早く建てられた）

此の意義ある塾は勿論、沿革所在跡すら知る人が少ないが、鮫川の史跡として又鮫川沿革史上特筆大書して残さねばならぬ史跡である。

× × ×

比の稿を草するに当り、筆者が約一週間に亘り、西野、西山、浅川の各方面を行脚し旧家の家文書を抜き、古老の言を聞き、口碑を調べ、漸くにして纒めたのであるが、未だ及ばざるものなきを保せず後考に待つのみ。

特に武川きいさん、石井市作氏、白坂勝弥氏、須藤栄恭氏、北条佐四郎氏、阿久津辰弥氏家に伝える家文書より抜いたのが多い。

各位の御協力を感謝する。

暮れゆく一九六九年

村長　石田卯子八

村の歩み (33)

十二月二日衆議院は解散され、かつてなかつた師走選挙のあわただしさの中に一九六九年は暮れて行きます。

この年は、国にとつては、大学紛争に明けくれ、安保沖縄の論争も果てることなく、総合農政はゆれ動き沖縄返還交渉が一応の結着をみた時点で、解散総選挙に突入したわけで、まさに激動の年であつたといえるようです。

県の機構改革は、県事務所の廃止を初めとする出先機関の整理統合が実施第一年度を過しているものの、このタテ割行政の不便さと住民サービスの低下は覆いきれないものがあるように思います。

村の関心事は、先づ農作物の作況にありますが、春の晩霜以来不順の気象が続き、七月中旬までの降雨低温、八月一杯の低温は稲作の収量に大きな影響を及ぼしました。

加えて高冷地帯は台風九号で開花期の水稲が打撃をうけその他の農作物も相当の被害で、前年にも劣る収量となつたことは、まことに遺憾にたえません。

古老の言葉のとおり「凶作年の秋上げ」の例にもれず、収穫乾燥期の適温が、品質の向上に好影響を与えたことはたしかのようです。

村の建設事業は概ね順調に進んでいますが、林業構造改善事業は第二年次に入り、国有林を活用する部分林の設定も計画のように進み、林構林道も早期着工、早期完成の実をあげることができました。

災害によつて失つた青生野小学校舎の復興再建工事は、五月着工、八月完成のスピード建築で、第二学期から児童の正常授業が開始されました

慎重に慎重を期して進めてきた統合中学校の建設については、村の英知を集めた中学校対策協議会の一年余にわたる検討審議の過程を経て、六月に答申が出され、これに基づいて村は直ちに実施計画を立て、第一期工事の施行に着手しました。

幸に国庫補助、起債も許可され、自主財源により寄付金等の住民負担なしに事業遂行の見通しであります。

先づ前沼口から登る通学道路五九〇mの完成を急ぎ、基礎パイルの打込みを終つて、現在本体工事にとりかかつております。

次に本村を通過する主要地方道勿来―弥彦線の昇格が、建設省から国道昇格審議会に提案され、国道に昇格されることになつたのは、よろこびにたえません。

わが村は、鉄道のない村、国道のない村として交通の不便を甘受してきたのでありますが、村の一部にせよ国道をもつに至つたことは、社会的にも経済的にも意義あることだと思います。

今後は阿武隈縦貫路線の開設を強く要望するとともに肋骨となり連絡線となる村内道路の整備を急ぎたいものです

暮れゆく一九六〇年代最後の年を送るに当り、皆様の村政によせられるご協力に感謝し、新に迎える七〇年代のために、健かに越年されますようお祈りする次第であります



文化祭の花嫁衣裳展示室で花嫁花婿に扮した婦人会の役員さんたち。

議会だより

統合中学校舎の建築
第一期工事契約決る

第十二回臨時会は十一月二十九日に招集され、十七名（欠員一名）の議員が出席し会期を一日間とし、次の三件の議案及び諮問一件が審議され原案どおり可決、同意されました。

◉議案第四十八号　鮫川村立統合鮫川中学校舎第一期建築工事請負契約について

壇の岡に建築される統合中学校は道路の完成をみて、入札を二回実施した後、五千万円で矢吹町の高田工業と随意契約を結ぶことが議決され十二月一日に着工し明年三月三十一日に完成の予定です。

◉議案第四十九号　昭和四十四年度鮫川村一般会計補正予算（第六号）

地方交付税一千七十万六千円等、一千百万七千円の財源で、青生野地区の電気導入事業に九十五万八千円、農集電話架設補助費に二十六万円林道開設工事費に百九十万円森林組合の事業費補助に四十一万八千円、県道改良工事負担金に二百四十三万円、職員の給与改訂による人件費二百三十五万二千円等が補正されました。

◉議案第五十号　昭和四十四年度鮫川村国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

事業勘定は国庫支出金八万三千円の財源で事務改善費に八万七千円、給与改訂に三十万円が補正され不足分は予備費より充当されました。

診療所は一般会計からの繰入金六十万円の財源で、給与改訂に七十三万三千円が補正され不足分は予備費より充当されました。

◉諮問第一号　人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて、

小松七郎氏の任期満了により村長より諮問のあった、大字渡瀬字江竜田の芳賀洋郎氏の推薦に同意しました。



恒例のお母さんをたたえる会。お母さんたちはお行儀がよい。



お嫁さんに感謝する会。お子さん連れでにぎやか。

稲作特別対策事業決まる

稲作の合理化を促進するため、今年度に限り、肥料、農薬等の購入財源として、国から村を経て補助金が稲作農家に交付されます。

◉交付対象者

昭和四一年、四二年、四三年産の米穀を政府に売渡した実績があり、四四年度に米を生産した農業者。

◉補助対象事業

今年度米の生産のために実施された肥料購入等の事業が主として対象となります。

補助金額

昭和四一年産、四二年産、四三年産の政府売渡し米の総量を三で除した数量（三ケ年の平均）に、㎏当り二円四〇銭の割合で算出した金額、本村には約五百一万七千円が交付され、該当者一人当り平均約六千三百円になります。

◉補助金交付の申請方法

村が配布する申請書用紙を使用し農事組合単位に連名で村長宛に申請する。この場合資材販売証明書を添付する必要がありますから肥料を購入した農協または業者から農事組合単位に連名で証明を受けなければなりません。

補助金は、該当者本人または受領の委任を受けた者に今月末に支出される予定です。

年末年始の交通事故防止運動に協力を!!

◉実施期間

自昭和四十四年十二月十五日至昭和四十五年一月十四日

この運動は、飲酒運転の悪質、危険性を広く一般住民および運転者に周知させ、運転者や家庭、社会環境からそれぞれ自主的、積極的な努力によつて飲酒運転および飲酒運転による交通事故を防止しようとするものです。

あわただしい年末年始
交通事故にはくれぐれも
用心して下さい

◉運転者は次のことを必ず守つて下さい。

※　飲酒することが予想されるときは、不便でも車をおいて出かけること。

※　車を運転するときは、たとえ一杯の酒でも絶対に飲まないこと。

※　車を運転するときは、酒宴の席に出ないこと。

警察では、年末年始には酒飲み運転を重点的に取り締ることにしています。

酒飲み運転による事故をなくし、明るい正月を迎えて下さい。

飲んだら乗るな
乗るなら飲むな!!





保育所のお子さんたちが可愛い声で“お母さんありがとう,,

衆議院議員の選挙

十二月二日に衆議院が解散され、選挙の投票日は十二月二十七日と決定されました。民主国家における私共の代表を選ぶ最も重大な選挙であつて私共の一票が生活に直結するのであります。

立派な政治家を選ぶことによつて立派な政治が行われるのです。

衆議院議員の選挙は身近かな選挙でないので関心がうすいといわれていますが、投票は義務ではなく権利であります。自から進んで正しく権利を行使すべきです。

投票日に都合があつて留守となる方は不在投票が出来ます十二月七日より十二月二十六日迄、毎日午前八時三十分から午后五時迄役場内選挙管理委員会事務局で受付けております。



健康優良児20人が若い母親と一緒に表彰されました。

火の用心

◎いよいよ火災シーズンになりました。火の元には十分注意して下さい。

◎年末年始は何かと忙しい日がつづきます。戸締りや、火の始末は完全にして下さい。

◉火の元は、出る前
寝る前もう一度

◉火事だけは絶対出すまい
わが持ち場

昭和四十四年一月から十月までの県内の火災発生件数は**七二九**件でその内建物が五六三件、山火事が一〇一件、車両等三一件、船舶二件、その他が三二件となつています。

グループ紹介 (7)

「みのりの会」
（西山二区）

私達の、みのりの会は、昭和四十年に発足したクラブです。当時現在の農業は曲り角に来ているなどとさわがれていた中でこれから農業と取り組んで行く若いものが将来の事や、経営等について話し合いながら、お互いの知識、生産技術を高めて行く事を目的とし、西山二区内に住む青年男女で結成されました。発足当時は十二名の会員で構成され、役員は、会長、副会長会計、庶務、連絡員を各一名ずつ置き、事業の一つの柱として水稲の増収を目的に坪刈を実施して来ました。私達が坪刈を始めてから現在まで、部落内の水稲の収量は年々増えて来ておりますが、品種ごとの作付面積が大幅に変って来ております。こういう中で坪刈をして見る事により次年度の品種選定施肥管理等に大きな役割を果すことになりますので、今年も坪刈は事業の一つの柱としております。

この坪刈の外に、水稲については、マルチング栽培、除草剤の試験等を行なつて来ました。マルチング栽培は条件の良い普通田だつたので、生育が進み、一株三本植えの稲が四十本から多い株で六十本位になり私達をおどろかせましたが、収穫時には、分けつ過剰だつたのでしようか一般田の稲と収量には大差がありませんでした。

しかし収量にこそ差はありませんでしたが、あれだけ旺盛な分けつを見せてくれただけでもマルチング栽培の結果として、私達には得るところがあつたと思います。また四十二年、四十三年には、東白地方実績共励会に会員の稲を出品し、上位入賞してきました。

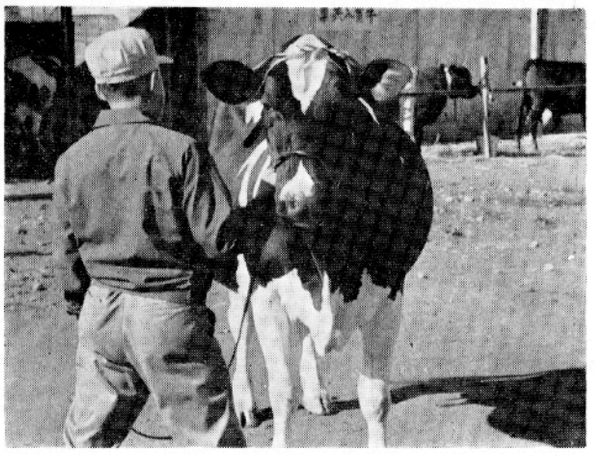
我がクラブの、このほかの事業としては、各作物の講習講話や視察旅行等を行なつております。私達若い者は今後結婚式や、その他の祝の席へ顔を出す事も少なくないだろうということで、謡曲の講習も受けました。旧正月に会長宅に全員が集つて練習することは楽しいものでしたが、おぼえるまではと、とにかくみんな一生懸命で十日間ずつ二年間続け、完全とはいえませんが、ひととおりの謡曲を覚えることが出来ました。

このような事業を進めて来た中で一番苦労したのは運営資金で年々会費を、値上げせざるを得ない状態です。

現在、みのりの会は会員が女性三人を含めた十五人で、今年は、今までの事業と合せて西山二区内の組長、農事組長婦人会役員の方との話し合いにより、月一回の農休日を決め実施して来ました。農休日当日には会員が部落内を巡回し、農休日が徹底するよう呼びかける一方、部落内の人達に楽しく過してもらおうとソフトボール、バレーボール等のレクリエーションを行なつて来ましたが、今後も農休日を利用していろいろな催しを計画しております。

これらの事業を続けながら会員一人一人のつながりを、より密接なものとし、わが部落に貢献出来るような活動を行なつて行く事をみのりの会の目標としております。

（会長　関根　孝夫）



今年の畜産共進会でグランドチヤンピオンの栄冠を得た乳牛の王様（渡瀬蛭田正さん飼育）

村税完納運動

未納の村税は今すぐ完納しましょう

12月1日～12月25日

未納になつている村税を自主的に完納していただく村税完納運動を展開しております。

十二月は農産物等の代金の入る時期です。何かとご都合もあることと思いますが、未納になつている方はこの際是非完納されるよう御協力をお願いいたします。

なお今月は、村県民税第三期分及び国民健康保険税第五期分の納期になつておりますので、納期内に完納されるようお願いします。

そして「十三ヶ年継続全村完全納税」の金字塔をうちたて、納税者皆様の御理解と御協力を重ねてお願いいたします。

第六回新有権者政治講座に参加して……

十一月十八日から二十日までの二泊三日間、国立磐梯青年の家において新有権者政治講座が開催され、それに参加のしくみと選挙、人生如何に生くべきか、幸福の追求、政治の刷新、青年と心理、この様な事についての講義をされました。主に選挙に関しての講義でしたが、選挙と聞くと、私達の頭に浮ぶのが、テレビや新聞等でも報道されていますが不正な行為です。不正行為を起さない為には、各々個人が他人に誘惑されない、そんな心構えが大切だと思います。講義の中にもありましたがやはり私も思うのですが、何と言つても選挙は、自分達の代表となる人は、どんな人が適当か、それを自分で積極的に知り、安心して政治を任される様な人を選びたいと思います。

討義内容としては「どうすれば選挙は正しく行なわれるか」まず候補者を良く知る。そして周囲の誘惑に負けない。自分の選ぶべき人は誰か、それを自分で決める。このような活発な討義を最後に第六回新有権者政治講座が閉講されました。

三日間と言う日がアツと言う間に過ぎてしまいましたが、講義を中心にキヤンドルサービス、フオークダンス等、日程の中に組まれており、規律正しい生活の中で、いろいろと勉強になり、とても楽しい想い出となりました。私達若人は政治面社会面をもつともつと沢山知りたい。今回のような研修をもつと多くして戴きたい。そして多くの人が参加してこれから一人の社会人として私達はどう生きるべきか、そんな事をもつと良く知る必要があると思います。

（森田ミナ子）

年賀状に交通安全スタンプを!!

交通安全スタンプを鮫川郵便局に備えてあります。年賀状などに押して、交通安全運動に御協力下さるようお願い致します。



国保だより

しもやけは予防が大切

しもやけは寒くなりかけのころに多いもので、寒さだけが原因ではなく、寒さに対してヒフの血管が適当に広がつたり、ちぢんだりしてついていけないためにおこるのです。しもやけのできやすい体質がありこれは遺伝性のものが考えられています。しもやけのできやすい人は冬にそなえていまごろから予防を心がけることが大切です。

それには初冬のころから手袋や保温力のあるくつ下をはき寒さに長くさらさないようにし水仕事をしたあとは水分をよくふきとつて下さい。手足耳などをよくもんで血液の循環をよくするのも有効です。血管の鍛練法として、両手をお湯につけて十分に暖めたうえ、急に冷たい水に入れる。冷えたらまた急にお湯に移すことを一〇回くらい毎日くり返すと効果があります。

編集後記

今年も余すところ数日で新年を迎えようとしております。月日の立つのは早いもので広報さがわも一九三号の発行となりました。みなさんに愛され親しまれる広報をと編集子一同頑張つておりますが微力で至らぬことも多いと思います。何卒ご指導のほどをお願い致します。皆々様のご多幸を祈ります。